

松原 5・6 丁目 自治会だより

◎「松原 5・6 丁目自治会」は、平成 17 年 1 月 12 日、世田谷区において、地方自治法第 260 条の 2 に基づき、地縁団体の認可を受けております。

3 月になって夏日があったり、北風が吹いたり寒暖差が激しい日々が続いている中、16 日(水)深夜、突然の地震に驚かされました。11 年前の大震災を思い起こす烈震に宮城、福島等・東北の人達の恐怖はいかばかりだったことでしょう。もっと胸が痛むのはウクライナで起きている紛争により多くの市民が日々犠牲になっていることです。連日、報道される映像を通し、改めて戦争の悲惨さが伝わってきます。人々の生命と尊厳、生活を破壊する戦闘が一日も早く終結することを願ってやみません。

4 月・5 月の行事予定

☆春の全国交通安全運動(光明学園交差点)

4月6日(水)～15日(金)

☆春の歩こう会

～吉祥寺発祥の寺町から井の頭公園へ～

4月23日(土)8時30分: 明大前駅集合

※雨天の場合は、翌日に順延

※申込方法:3月25日から4月7日までに

世田谷コール 5432-3333 へ申し込みを

先着 50 名



☆春の古着の回収

5月7日(土)9時～11時30分

会場:梅丘分庁舎(松原 6-3-5)

松原まちづくりセンター

(新事務所:松原 5-43-28)

☆ヨガでしなやかに身体改善

5月18日、25日、6月1日、8日(毎週水曜日)

午前10時～11時30分

会場:松原まちづくりセンター(松原 5-43-28)

※申込方法:3月25日から4月26日まで

まちづくりセンター 3321-4186 へ申し込みを。先着 15 名

自治会館での活動

☆ふれあい松原 5・6 丁目 “スズランの会”

4月15日(金)10時～12時

・フラワーボックスの制作

・「あんすこ」のお話と体操

※参加費:100円 軽食を提供

【コロナ感染状況により中止することもあります】

『子育てサロン』終了のお知らせ

2005 年に自治会館ができたのを機に始めた「子育てサロン・松原子育て応援隊」を閉じることにいたしました。

コロナ禍でサロンをほとんど開くことのできない 2 年でした。それまでの 15 年間には様々な思い出があります。第 1 回目のサロンの赤ちゃんが今年高校 3 年生になるはずです!

在宅栄養士の皆さまによる離乳食講習会、消防署の協力を得た乳幼児のための救命救急講習会。最近の数年間にはボランティアでリトミックコーナーを担当して下さるスタッフにも恵まれました。

スタートした頃はこのようなサロンが少なかったこともあり、毎回 10 組以上の親子が参加するほど盛況でした。最近は多くて 3 組。



この際、地域の皆さまに、より求められる活動内容に衣替えをしてみたいとスタッフ皆で検討中です。どうぞお楽しみに!

都立光明学園北棟が完成!!

近隣住民のための新校舎見学・説明会が行われました



新校舎・北棟の全景、北棟と西棟を結ぶ光明ブリッジ



明るい光にあふれた体育館

2月20日(日)、都立光明学園の新校舎北棟の完成に伴う近隣住民のための見学・説明会が行われました。

光明学園は1932年6月に国内初の公立肢体不自由教育校「東京市立光明学校」として港区麻布に開校。1939年9月に現在の世田谷区松原に本校舎が建築され移転、以来、松原とは深い縁に結ばれています。

2008年に都立光明特別支援学校と改称され、さらに2017年、肢体不自由教育部門を担っていた光明特別支援学校と病弱教育部門を担っていた久留米特別支援学校が統合され、2部門併置の都立光明学園として再出発いたしました。

それに伴って新校舎の建設計画が進められ、一昨年の夏、第1弾として新校舎「西棟」が完成し、この度第2弾の新校舎「北棟」が完成したのです。

現在、第3弾となる南棟の建設が進められており、令和6年(2024年)3月に完成し、新学園開校の理念に基づく環境が全て整うとのことです。

松原5・6丁目自治会は「ご近所と地域の絆を大切に」をテーマに「松原の文化祭～ふれあい絆フェスタ」を行っていますが、開催会場として光明学園の体育館等を使用させて頂いております。

見学会では田村康二郎校長より、新校舎建設にあたっては保護者・教職員の声が最大限に反映されているとの説明があり、すべてにわたってすみずみまで心配りされた素晴らしい施設となっています。

所在地：世田谷区松原 6-38-27 ☎03-3323-8421



セラピーマットが敷かれた自立活動室



3F屋内にある大小二つのプール

世田谷区における3回目ワクチン接種済み数は、3月23日時点で312,661人です。

対象人口788,727人のうち、約39.6%の方が3回目接種を接種済みです。東京都が公表を開始した3回目接種の接種率には、区内医療機関で実施した個別接種の実績が含まれていないため、実際の接種率よりも低く表示されています。
(3月23日現在)

◎【3回目接種】今後の接種券送付スケジュール

[18歳以上の方] 接種券が届き次第、3回目接種予約ができます。3回目の接種を受ける日は2回目の接種を受けた日から6か月以上空けて下さい。

| | | |
|--------------------|---|------------------|
| [3回目接種券の到着開始日(予定)] | | [2回目接種を受けた日] |
| 令和4年3月18日～ | ← | 令和3年10月1日～10月31日 |
| 4年4月19日～ | ← | 3年11月1日～11月30日 |



◎松原地域の区の集団接種会場について

- 保健医療福祉総合プラザ(うめとぴあ内)[ファイザー社製ワクチンを使用]
- 代田区民センター [モデルナ社製ワクチンを使用]

◎区内の病院・診療所等[ファイザー社製ワクチン]でも3回目の接種を受けることができます。

※ 集団接種会場や、接種を実施している医療機関の情報は区のホームページ(下記二次元コード)をご覧ください。電話で新型コロナウイルスコール(下記参照)へお問い合わせください。

◎問合せ

- インターネット: 右の二次元コードを読み取る



●電話 世田谷区新型コロナウイルスコール 0120-136-652 (通話料無料)

月～金曜 午前8時30分～午後8時 土・日・祝日 午前8時30分～午後5時30分

※聴覚に障害のある方を対象に、FAX(5687-2020)でも受付しています。

※まちづくりセンターで予約のお手伝いをいたします。接種券が入った封筒を一式持参ください。

◎[1・2回目接種] 5～11歳への小児接種

●接種券の送付

- ・平成22年4月2日～29年5月1日生まれの方には、既にお届け済みです。
- ・新たに5歳になる、平成29年5月2日～29年6月1日生まれの方には、4月7日(木)から接種券をお届けします。平成29年6月2日以降生まれの方には、5歳の誕生日を迎える前月に接種券をお届けします。
- ・5～11歳の方へのワクチン接種は、予防接種法上の努力義務は適用されていません。接種を受けるメリットとデメリットをご考慮頂き、接種を受けるご本人やかかりつけ医と相談のうえご検討下さい。

●集団接種会場での接種

- ・毎週3～4会場土・日曜に実施します。会場は週ごとに変更します。
- ・集団接種会場は、1・2回目のセット予約です。(2回目は1回目の3週間後)
- ・3月17日(木)午後5時30分から、4月23日(土)以降の予約の受付を開始します。

●病院や診療所での接種(個別接種)

- ・病院や診療所でも、3月中旬以降、準備が整ったところから順次開始していきます。
- ・接種を実施する医療機関の一覧や予約方法など詳しくは、区のホームページをご覧ください。

松原の歴史 ⑱

前回、明治期に甲州街道で乗合馬車が使われていたことを紹介しましたが、「松原の昔」No.2では、大庭伊兵衛氏の父・大庭伊三郎氏が孫と乗合馬車・「ガタクリ馬車」について語り合っていたことが記載されています。併せて甲武鉄道計画の反対運動について紹介します。

17.松原の乗り物の歴史

(2) ガタクリ馬車（甲州街道の乗合馬車）

[孫] 「昔、甲州街道に乗合馬車が通っていたときですが、どんなものだったの？」

[祖父] 「うん、乗合馬車、『ガタクリ馬車』といってな、府中から新宿まで通っていたよ。（註、新宿から調布までかは未詳）代田橋から乗ると、新宿まで、3・40分はかかったかな。50銭だった。（今の500円ぐらいか）甲州街道は今のようによくなく、舗装されていなくて砂利道でな。馬車に乗るとガタゴト揺れるので、皆がそう言っていたんだよ」

[孫] 「いつごろからあったんですか。何人ぐらい乗れたの？」

[祖父] 明治の初年から大正2年（1913年）迄、通っていたな。京王線が開通するまでであったわけだ。両側に席があって12人座れて、立つ人もいれると20人くらい乗れたね。普段は新宿迄行くのはみんな歩いて行ったもんだが、お正月や盆休みなんかには乗ったもんだよ」

[孫] 「その馬車は誰がやっていたの？」

[祖父] うん、高井戸にいた吉田甚五郎さんという人で、天然氷を売る氷屋さんだがその一方で馬車を経営していたわけだ。馬は2頭で引いたな。御者が一人で助手が一人乗っていて二人だな。そしてラッパをブーブー、テートテートって吹いていた。



(3) 甲武鉄道計画の反対運動

明治22年（1889年）、甲武鉄道（註、現中央本線の前身）が現在の京王線と同じ路線上に乗り入れる計画だったが、馬方、乗合馬車の経営者、商店主、それに石炭を炊く汽車のため農作物に被害を与える煤煙が出る、汽車は危険な乗物である、農地の買収は困るなどの考えから、地元の人達は一斉に反対運動をした。

松原の農家も肥桶をかついで糞尿を測量する人達にぶちまいて妨害をした。このためにこの計画が変更され、もっと北に移って現在の中央線の位置に後退したわけである。

しかしこの頃迄、甲州街道は商店、茶店が立ち並び、人の往来も多く賑わっていたが、客足は甲武鉄道にとられ、甲州街道の賑わいは次第に衰退の憂き目にあうことになる。

それでも大正2年（1913年）に京王線が開通してからは、次第に松原の地も民家が増え発展してくるようになった。（「松原の昔」No.2 大庭伊兵衛編より）

[編集後記]・松原5丁目在住の映画評論家、また文化功労者でもある佐藤忠男さんが、3月17日に逝去されたとの訃報が届きました。享年91歳。ご冥福をお祈り申し上げます。（編集係）

事務局 松原5・6丁目自治会 自治会館
156-0043 松原5-8-11 TEL・FAX 3321-2422
※ 自治会HPのアドレス及びQRコード
<https://matsu56jichikai.jimdoofree.com/>

